



特定非営利活動法人日本冒険遊び場づくり協会
2018年度 活動団体応援プログラム 活動報告書
〔ぎなんプレーパークの会〕(岐阜県岐南町)

【団体紹介 HP】 <http://bouken-asobiba.org/play/asobiba-216.html>

1年間の活動の概要

【普段の活動】 基本的に月に1回、プレーパーク開催

【内容】 木工や昔遊び、子どもたちの自由な創作力によるダンボール工作やハウス作り
生き物採取と観察、火おこし体験、芝滑り、水遊び・泥遊び、木登りなど。

【イベント】 ・岐南町まちづくり助成金活用・・・

5月は岐南町内の公共の広場にて「梅の実ワークショップ」を開催。梅の実を収穫し、その場で梅シロップや梅干づくり。他、サツマイモの苗植えも行う。

8月と11月には「子どもに遊びが大切なわけ」のテーマで勉強会開催。

2月味噌作り体験講座開催予定

・岐阜県 清流の国ぎふ地域活動支援事業・・・

7月はプレーパークで使用する削り馬づくりワークショップ。

10月は木製モニュメントづくりワークショップ+プレーパーク

11月は活動拠点の地元小学校でのお祭りにて、「どんぐりまき と 木のプレートづくり」ブース担当。

・岐南町主催イベント及び、NPO 法人日本冒険遊び場づくり協会 共同開催

11月はプレーパーク体験会でのプレーパーク体験の場の提供。同日開催で、「お外で子育て支援講座」(NPO 法人日本冒険遊び場づくり協会共同開催)を関戸博樹氏に「自己肯定感を育む遊びのちから」と題してお話していただいた。

次の1年間でチャレンジしたいこと！

地域に「プレーパーク」を浸透させていくために、継続した広報とともに、地元の方々との関りを増やす場も作っていききたい。遊びの場としてだけでなく、癒しの場としても活用していただけるような創意工夫もしていきたい。



▲神社でのドラム缶風呂の様子(2018年6月2日開催)

【運営メンバーから一言！】

ここにきたら、やりたい事が思いっきりできる！と子どもたちに思ってもらえる場になってきていると感じます。活動拠点としていた公園の改修工事で、開催場所が定まらない年でしたが、理解あるの方々のおかげで神社での開催が何度もでき、焚火やドラム缶風呂にも挑戦できました。今後も子どもたちにもよりそった あたたかな場づくりを 心がけていきたいです。 (代表 森下)

【協会から応援メッセージ！】

今年度は遊び場の開催をご一緒させて頂きありがとうございました。子ども達が迷いなく自分の遊びたいことに熱中している様子を見ることができました。今後も子どもはもちろんですが、親や地域の方、そして運営に携わる大人にとっても居場所となる様な場づくりを進めて行ってください。応援しています！

日本冒険遊び場づくり協会 代表 関戸博樹



▲神社での遊びの様子(2018年11月3日開催)

